

新しがや

2024年1月1日 No.1435
日本共産党越谷市委員会
越谷市花田1-11-15
電話 962-9595
留守の時 988-7001

総選挙で日本共産党躍進の新年を

日本共産党越谷市委員会

新年、おめでとうございます。

日本共産党は来るべき総選挙での躍進をめざして、比例代表北関東ブロックでは塩川鉄也衆議院議員（写真上）、梅村さえ子前衆議院議員（同中）の2人の勝利を、また小選挙区埼玉3区ではばひろし国政対策委員長（同下）の勝利を勝ち取るために、全力でがんばります。



塩川鉄也
衆議院議員

防衛費倍増、物価高騰などへの経済無策、マイナ保険証の押し付け、アメリカ言いなりの財界中心の政治を続け、格差と貧困はさらに拡大し、国民生活は苦しさを増しています。岸田政権の支持率はのきなみ20%を下回り、いつ解散・総選挙になってもおかしくない情勢です。



梅村さえこ
前衆議院議員

切にする働き方への改革。②消費税減税、社会保障充実、教育費軽減―くらしを支え格差をただす税・財政改革。③気候危機打開、エネルギー・食料の自給率向上―持続可能な経済社会への改革、の3つの改革で、くらしと経済を支えます。

日本共産党の「経済再生プラン」実現のためにも、総選挙でぜひ躍進させてください。みなさんの引き続きのご支援・ご協力を、お願いいたします。



ばばひろし
党埼玉3区
国政対策
委員長

給食無償化を求める連絡会 結成総会 まずは自治体の給食調査から

12月23日、「学校給食無償化の現状、先進事例の紹介などがあり、多岐連絡会」の結成総会を開きました。

DVD「希望の給食」の視聴に続いて、「給食無償化とオーガニック給食」と題し、監修者でもある白石孝氏（NPO法人PARC理事）の講演（写真）を受けました。給食をめぐる課題や給食



自分の自治体の給食調査をして、現状を把握することが大事との話に納得。すすんでいる自治体には「地域ぐるみ三位一体」という共通点があること。憲法26条「義務教育は無償」に則ってす

すめていくことの重要性も強調されました。参加者アンケートでも、「大変良かった」が多数で、運動をすすめる決意なども書かれていました。

結成総会では、これまでの経過を報告。会の体制では、事務局長に工藤

秀次党市委員長を選出。ど当面の活動を提案し、購入したDVDの活用な 拍手で確認しました。

市民の願いを市長に直接届ける

民主市政の会 予算要望

民主市政をめざす越谷市民の会は、12月22日、参加各団体から10人が出席して、福田晃市長に56項目の予算要望書を手渡し（写真）、懇談しました。

各団体は、物価高騰で

疲弊する市内事業者の支援や、生理用品の各学校トイレへの設置、教員の未配置・未補充問題、学校司書の増員、住宅・店舗改修促進助成の拡充、補聴器補助の拡充など、それぞれの願いを、福田市長に直接届けました。



市長は、「現場のみならず、市民のみなさんの切実な声と受け止める」と発言。全部必ずやりますらも、「来年には、1つでも前進したと言えるようがんばりたい」と表明しました。

パレスチナ問題の意見書 提案を見送り

党市議団は12月議会で、「イスラエル・ガザ戦争の即時停戦を求め、日本政府に求める意見書（案）」の提案を予定していました。

これは日本政府が、イスラエル・ガザ紛争の人道的休戦を求めた国連総会決議（10月27日・121カ国の賛成で採択）に棄権したこと。また国会論戦でも、イスラエルによる攻撃を国際法違反と明言せず、停戦を求めると言わなかったことによるものです。

しかし12月8日の国連安保理「人道目的での即時停戦」を求めた決議（アメリカの拒否権発動で否決）、および12日の国連総会緊急特別会合「即時の人道的停戦」を求める決議（153カ国の賛成で採択）に日本政府が賛成したため、意見書で求めようとしていた内容が、達成されたことになりました。したがって今回は、意見書の提案を見送ることとしました。

リレーコラム ③⑧

わたしも妹も子育てに奮闘の冬休み

この時期は、いつもお金に頭を悩ませる。クリスマスとお年玉、冬休みの外出先の出費、帰省、忘年会、新年会など様々な出費。子どもたちにも少しでも楽しんでもらえる冬休みにしたい。それが親の思い◆我が家では今年、クリスマスプレゼントをアマゾンで頼んでみた。これが失敗で、いつも荷物が届いても知らんぷりな息子が箱を開けてしまい、妻から大目玉。来年からは買いに行こうと夫婦で話し合った◆今年も妹夫婦が長野にお城を建てた。二人目の姪も生まれたので年末は長野に行くことに。妹から連絡があり母も誘ったが、「行かない」と言われたので兄のわたしから母を誘ってほしいとのこと。理由を聞くと、「年末は何かとお金もかかるし、母がいた方がいろいろ頼めるし」とのこと。みんな考えることは一緒だし、きっと母もそれをわかっていただろう。しかし、妹の方が一枚上手。孫をだしに「ばあばは、何で来るの」とけしかけて一本。やむなくわたしと長野に行くことに◆お金や苦労をあまり気にせず子育てしてみたい、今日この頃。

（大成町 工藤しゅうじ）

新年もどうぞよろしくお願いいたします

自民党の派閥の裏金づくりは、「パーティー券、トンネル抜けると、そこは裏金だった」というひどい実態でした。議員にキックバックされた額は5000万円を超えるものも。こうした裏金で、政治買収などがおこなわれて、政治がゆがめられてきたのです。

一方、国民のくらしはどうか。政治の足元・公務の職場でさえ非正規雇用が拡大し、日本の国の賃金は、30年も上がっていません。「自治体職場の非正規公務員（会計年度任用職員）の6割が、年収200万円以下の『ワーキングプア』です」（11月9日・参院総務委員会質問）と告発しましたが、これでは、「公共」の仕事に誇りをもって取り組めるわけもなく、住民を守る者としての自治体の役割も果たせません。

今、国民的な怨嗟（えんさ）の声として広がっている「もう完全にアウト！」「政治の転換を」との思いを、わたしはど真ん中で受け止めて、走る決意です。

「秋の保険証廃止」は断固撤回させて、「国民皆保険制度崩壊元年」には絶対にさせません。

日本共産党参議院議員 伊藤岳



2024年 党と後援会の

新春のつとめ

日時 2月24日（土）午後2時～

会場 越谷コミュニティセンター
ポルティコホール

文化行事 津花こうじさん（越谷出身・写真）の
アコーディオン演奏

※衆議院選挙予定候補者のご挨拶を予定

